

東京計器 株式会社

事業を通じて解決していくべき 社会課題と地域貢献活動

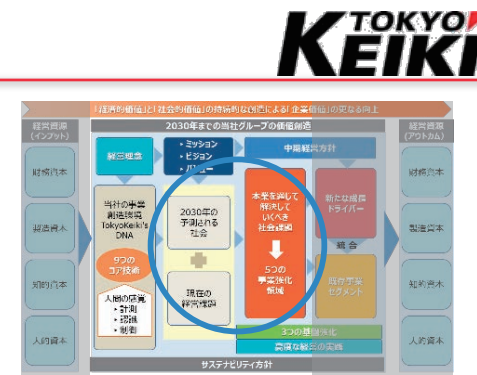
1. 東京計器ビジョン2030

5つの事業強化領域

2030年の予測される社会から5つの事業強化領域を定義

2030年の予測される社会

- SDGsの地球規模の共有と追求
- AI、IoT、ビッグデータ活用に適応するセンサ機能の多様化と高度化
- クリーンエネルギー革命の進展
- 宇宙ビジネス本格化
- モビリティ領域におけるソフトウェア技術の高度化



本業を通じて解決していくべき社会課題：5つの事業強化領域



©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

9

当社は従前より地域貢献などを軸としたCSR活動を行って参りましたが、2021年の東京計器ビジョン2030の開示を機に、より広義であるサステナビリティの概念の一部として捉えていくこととしました。この考えの下、事業を通じて解決していく課題を5つの事業領域の強化と連動させ、SDGsに於ける開発目標と紐づけを行い今後は本業による貢献を主として活動していくことを会社の方針としています。

もちろん従前の地域貢献に係る活動についても継続しており、当社の生産拠点のある栃木地区においては、那須街道沿いの赤松林保護活動や工場周辺の樹木の植替え、街路灯の維持活動などを従業員の自主的な活動として継続しております。

また従業員によるボランティア活動等への参加を促進するため、ボランティア参加等のために継続して休暇を取る場合に使うことができる休暇制度などを充実させております。

